

イツ・コミュニケーションズ(株)様から映像系 FTTH 設備機器を受注

ミハル通信株式会社（本社 神奈川県鎌倉市／代表取締役社長 二ノ宮隆夫）は、このたび、イツ・コミュニケーションズ株式会社様（本社 東京都世田谷区／代表取締役社長 高秀憲明様）より映像系 FTTH 設備機器を受注いたしました。これは、イツ・コミュニケーションズ株式会社様が 2016 年 11 月 16 日に発表した「サービスエリア全域におけるネットワークインフラを、現行の HFC から FTTH 方式に移行することを決定」に伴うもので、センターとサブセンターの局間、各サブセンター内に当社機器が導入予定です。当社の映像系 FTTH 機器の性能・品質が高く評価され、今回の受注に繋がりました。今後、2017 年 4 月より着工開始、約 2 年後の 2019 年に完工予定です。

記

- イツ・コミュニケーションズ(株)様
1983 年設立で現在の加入世帯数は約 88 万世帯。テレビ、インターネット、電話の放送・通信のサービスをはじめ、IoT 技術を活用したスマートホームサービスを提供している東急グループのケーブルテレビ会社。
- 受注した主な映像系 FTTH 機器
 - 新型マルチポート型光ファイバー増幅器（MOAPN-FA2602P 他）
 1. EIA4U サイズに最大 144 光出力ポートを実装、当社従来製品比で 1.7 倍の高密度化を実現。
 2. 2016 年 12 月より発売開始。
 - デジタルヘッドエンド MDSR シリーズ
 1. 3U サイズに最大 12 ユニットの実装、高密度化を実現。
 2. 入力系統は 2 系統（SP）を搭載、万一入力信号が停止した場合には自動的に待機系への切替が可能。
 3. 万一のユニット故障時には、SP コントローラーと連携することで自動または手動で予備器への切替が可能。
 - N+1 光スイッチ（MOFP-OSW081 他）
 1. マルチポート型光ファイバー増幅器を効率的に冗長可能。
 2. 複数のマルチポート型光ファイバー増幅器を予備器 1 台で冗長。
 3. 光入力レベルを常時監視し、異常となったポートを自動で予備系へ切替。
 - 高度 BS 広帯域 CS 対応 3.2GHz シリーズ（直接変調型光送信器・冗長増幅器・HE 用分配器、混合器）

以上

ミハル通信について

ミハル通信は、ケーブルテレビ草創期の 1955 年に誕生したケーブルテレビ・放送局・通信関連機器メーカーで昨年創業 60 年を迎えました。設計から製造までを一貫して自社で行なうことを基本とし、高品質・短納期を実現してお客様のご要望にお応えして参りました。今までもこれからも“ヒト・モノづくり”を連綿と継承し続け、迅速性・信頼性・継続性をもって、革新的技術でお客様のご要望にお応えし続けて参ります。

〈本文書に関するお問い合わせ先〉

ミハル通信株式会社 総務部 広報担当

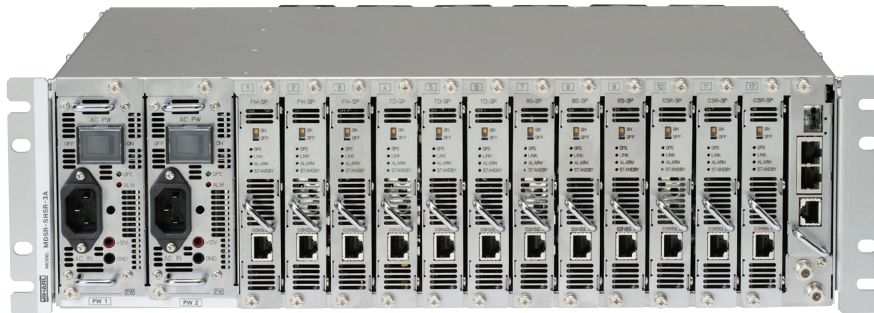
〒247-8538 神奈川県鎌倉市岩瀬 1285 TEL 0467-44-9111 FAX 0467-46-1615

メールアドレス mhr_eigy@miharu.co.jp ホームページ <http://www.miharu.co.jp/>

新型マルチポート型光ファイバー増幅器 (MOAPN-FA2602P 他)



MDSR シリーズ



N+1 光スイッチ (MOFP-OSW081 他)

